

科目名：テーマ研究 (Special Research Topics) 履修年次/時期：3 年次 後期 授業形態：講義 演習 担当教員：角田 晃、学科教員（全員実務経験有）		選必	2 単位
学修目的	指導教員のもと、医療に関する各自のテーマごとに情報収集・研究プロセス・論文の書き方・研究成果発表を学び、3 年間の歯科衛生に関する知識・臨床のまとめおよび歯科衛生研究について学ぶ。 DP2、CP3・4 に関連する。科目 No. S3D14S13		
到達目標	歯科衛生研究の考え方・研究のプロセス・研究成果の発表を修得し、卒業論文のまとめ方を学ぶ。		
授業概要	（この授業を選択した学生は、以下のテーマの中から自分が行うテーマを選び、担当教員の指示に従って、15 回の授業の中で、研究を進め、論文としてまとめる。） 指導教員のもとで医療に関係したテーマを選び、問題の抽出方法、問題解決の方法、文献の選び方、レポートの書き方などを学ぶ。たとえしぼられたテーマであっても多くの文献を通して広い知識が必要とされることが理解できると思う。 二年半の間に学んできた基礎的な知識がいかに役立っているかを、身をもって感じられるはずである。また、まとめるにあたっては科学的な文章の作成のしかたも同時に学ぶことになる。 テーマ 1 「唾液分泌量と味覚機能との相関関係」（伊ヶ崎） テーマ 2 「生活習慣と口腔の関係について」（井出） テーマ 3 「世界のう蝕予防事情」（片岡） テーマ 4 「口腔機能管理シミュレーターの活用法について」（小堀） テーマ 5 「各種口腔清掃用品とその清掃効果の検討」（関端） テーマ 6 「口腔習癖と歯科衛生士の取り組み」（田島） テーマ 7 「スポーツ歯科と歯科衛生士」（角田） テーマ 8 「歯科保健に関する行政の取り組みについて」（戸田） テーマ 9 「糖尿病と歯周病の関係について」（長谷） テーマ 10 「歯科衛生士によるインプラント治療後のメンテナンス」（中向井） テーマ 11 「各ライフサイクルにおける口腔保健（とくに歯科臨床にそくして）」（西村） テーマ 12 「日本人学童の頸椎と顎顔面骨格の成長の関連性について」（山内） テーマ 13 「唾液に含まれる抗菌物質に関する検討」（山本） 講義：各担当教員から研究テーマにおける現状について説明・情報提供を受けて知識と理解を深めるとともに、その分野において興味を持った点や疑問点を抽出する。 演習：学術論文や図書などを活用したうえで、講義で理解した内容と融合させて問題解決を図り、担当教員の指導のもと、まとめレポートを作成して学科内において発表する。		
評価方法	テーマの取り組み方、レポートの内容、授業参加度などを総合評価。 レポートに対するフィードバックは、発表後の教員からの質疑応答をもって、それに充当する。		
予習・ 復習時間	【予習】2 時間 【復習】2 時間		
教科書	教員がそのつど指示。		
参考書	教員がそのつど指示。		

オフィス-
連絡先

担当教員が指示。